

03 巻頭言

超高齢社会を多様性の認められる社会に

古谷野 亘 (こやの・わたる)

聖学院大学 心理福祉学部 教授

立教大学大学院修了。保健学博士(東京大学)。東京都老人総合研究所、北海道医療大学等を経て、1999年より聖学院大学教授。現在は心理福祉学部長。専門は社会老年学。主な著書に『新社会老年学：シニアライフのゆくえ』(共編著、ワールドプランニング)など。

04 Dia Report

WEBアンケートを活用したシルバー人材センター研究の新展開

石橋 智昭 (いしばし・ともあき)

— 会員参加型セルフチェックシステムの構築に向けて —

ダイヤ高齢社会研究財団 研究部長 博士(医学)

千葉大学大学院修了。博士[医学](慶應義塾大学)。亀田総合病院(専任研究員)、慶應義塾大学医学部(助教)を経て2011年より現職。専門は、高齢者のヘルスサービスリサーチ。財団では、「ケアの質のアウトカム評価」「介護予防政策の自治体共同研究」「生きがい就業の介護予防効果」を担当。

08 フォーカス高齢社会

認知症の記憶障害

若松 直樹 (わかまつ・なおき)

— その特徴と関わりの工夫 —

新潟リハビリテーション大学

医療学部 リハビリテーション学科 リハビリテーション心理学専攻 准教授

1963年生まれ。桜美林大学大学院老年学研究科後期博士課程満期修了。博士(老年学)。新潟リハビリテーション大学医療学部リハビリテーション学科リハビリテーション心理学専攻/同大学院リハビリテーション研究科心の健康科学コース准教授。臨床心理士、(公社)日本老年精神医学会認定 専門心理士。著書に『高齢者こころのケアの実践—上・下巻—』(創元社、編著)、『認知症ケアのための家族支援』(クリエイツかもがわ、編著)など。

10 Dia Column

高齢者のボランティア活動「花鳥お話隊」

鈴木 章一 (すずき・しょういち)

— 自分たちのできることを仲間と一緒に —

ダイヤ高齢社会研究財団 企画調査部 次長

上智大学 理工学部卒。1982年三菱化成工業株式会社(当時)入社、情報電子分野、主にLED材料の営業・原料購買・生産管理に従事。2010年3月、三菱化学株式会社(当時)ガリウムナイトライド事業部 筑波工場 生産管理室 グループマネージャー。2013年7月より現職。財団では、高齢者の生きがいや社会参加に関する調査・研究などを担当。

12 Dia Information

表紙写真について一言 「笠間稲荷の流鏑馬(やぶさめ)」

笠間稲荷神社の神事である流鏑馬は、毎年11月3日の文化の日に、笠間小学校前の特設馬場で行なわれる人馬一体の迫力ある伝統行事です。昭和25年に始まりました。現存する日本の伝統文化の一つである小笠原流一門の射手や古武道振興会の人々が、馬場に設けられた3カ所の的を射て、その命中度で翌年の農業の豊凶を占います。

※ PHOTO 448 SCHOOL : 千葉県我孫子市で写真愛好家を指導している吉羽健二郎夫妻の名前—よしば(448)—に因んでいます。